

公益社団法人 私立大学情報教育協会

平成27年度 第1回短期大学会議教育改革ICT運営委員会 議事録

I. 日 時 平成27年6月8日（月）18:00～20:00

場 所 公益社団法人 私立大学情報教育協会事務局会議室

II. 出席者 戸高委員長、坂委員、小棹委員、岡本委員、三田委員、松井委員、後藤委員
(事務局 井端事務局長、平田職員)

III. 検討事項

今回は平成27年度の運営委員会の活動及びスケジュールを確認した上で、平成27年度短期大学会議の開催計画、今後の短期大学就業力コンソーシアムについて検討した。

1. 平成27年度運営委員会の活動及びスケジュールの確認

平成27年度は、例年に引き続き、短期大学教育改革 ICT 戦略会議の実施のための企画と当日運営を行うこと、会議は9月4日の開催を予定しており、6月下旬には開催要項を会員校をはじめ全国の短期大学へ送付するため、今回の委員会で開催要項を完成することを事務局より説明した。また、今後の短期大学就業力コンソーシアムについても今回の委員会で方針を決定することを説明した。

2. 平成27年度短期大学教育改革ICT戦略会議の開催要項

(1) 前回の委員会で検討した会議の内容や予定講師への打診等について、事務局から以下の通り報告された。

- ① 基調講演は、専門職業大学を話題にしたテーマを設け、専門職業大学について検討した有識者会議のメンバーから専門職業大学の検討状況や差別化をするために短大教育の課題について紹介いただくことにしていたため、中央教育審議会の実践的な職業教育を行う新たな高等教育機関の制度化に関する特別部会のメンバーである金子元久氏（筑波大学大学研究センター特命教授）に「実践的な職業教育を行う新たな高等教育機関の制度化を踏まえた短期大学の新たな役割」の講演テーマで依頼したところ、了承された。
- ② 話題提供は、地域・地方と連携した教育の取り組みを紹介いただくことにし、地方創生をキーワードとした国の補助金に採択されている短大などに依頼することにいたため、1つは、教養教育の実践例として、教養教育、地域連携教育、インターンシップなどに取り組んでいる富山短期大学に「地域と共生する短期大学としての教育改革アクションプラン」のテーマで打診したところ、了承された。もう1つは、アクティブ・ラーニング導入による社会人基礎力の育成と専門分野への拡大を図るために、学修成果の可視化を導入し、地域社会のニーズに対応できる短大教育の改革を目指している、京都光華女子大学短期大学部に「アクティブ・ラーニングによる社会人基礎力と専門分野人材の育成」のテーマで打診したところ、了承された。

③ 卒業生アンケートの実施例として、学生の満足度をあげる教育改善の実施と結果について事例紹介を予定していたが、事務局で探したところ適切な事例が見当たらなかったため、本事例は開催要項から除いた。

(2) 事務局による説明の後、開催要項案に基づいて、開催趣旨、講演・話題提供の文言を修正し、2件の話題提供の共通テーマを「短期大学としての強みを発揮するための教育イノベーション」に確定した。また、会議の最後に、講演や話題提供を踏まえた質疑・意見交流として「地域人材の育成拠点を目指した教育改革の方向性を探る」をテーマに実施し、講師の金子氏、富山短期大学、京都光華女子大学短期大学に意見交換にも参加いただくことにした。

(3) 当日の司会は、講演、話題提供は小棹委員、質疑・意見交流は坂委員が担当することにした。

3. 今後の短期大学就業力コンソーシアムについて

コンソーシアムによる卒業生アンケートを検討していくための参考意見を伺うため、アンケートの改善すべき点や参加希望などについて、平成27年5月22日～6月4日の期間に加盟短期大学対象に意見聴取を行った。その結果、100短期大学へ送付したところ、21短期大学から回答があった。意見では、平成26年度に実施した卒業生アンケートは回答率が低いため、卒業生全体の総意を示しているとは言えず、教育の改善点を見出すことが困難であること、費用と労力に見合う結果が出ないこと、独自にアンケートを実施しているので不要であるなどの意見が多く見られた。また、卒業生は回答のメリットとして卒業生への手厚い支援や、回答内容が教育改革・改善へ直結することを期待するため、アンケート実施に際して短期大学自身が卒業生を温かく支援していく覚悟や体制が求められるとの意見もあった。

そこで、今後のコンソーシアムによる卒業生アンケートについて検討した結果、アンケートの回答校は13校、全体の回答率は10%程度と低く、教育改善につながる裏付けがとれずアンケートの意義が見い出せないこと、アンケート以前に教員の意識改革や短期大学全体の改革を重視すべきであることから、今後は卒業生アンケートは実施しないことに決定した。

以上